

《事業の成果》

ガイドツアーへの参加者は28名、シンポジウムへの参加者は38名であり、多くの方にセラピー事業を実際に体験頂きました。事業を通して、北本市の自然資源や身近な自然へ触れ合う機会の創出や自然保全意識の啓発を行い、森林を守り育てる「森林保全」への理解を促進する機会となりました。



《参加者の声》

本イベントを通して『森林セラピー』や『きたもと森林セラピープログラム』に対する興味/理解/関心はどのように変化しましたか？参加者皆さんにお聞きしたところ、こんな答えが返ってきました。

実際体験して短い時間でも森林セラピーを楽しむことが出来るのだと感じました。私自身は自然やセラピーに興味がありますが、このようなプログラムは**自然に関心がない人が体験して感じて欲しい内容**だと思いました。(女性/一般参加)

山歩き等と同じで、森林セラピーの良さは体感していただかないと、なかなかわかりづらいと思います。しかし、**体感すると本当に心地よい感覚になるもの**だと思いました。(男性/企業参加)

ガイドさんとのコミュニケーションが重要で自然の保全がいかに大切だと認識しました。またセラピー効果も体験でき、**社内活用を前向きに検討していきたい**と考えております。(男性/企業参加)

このようなシンポジウムに参加出来て満足しています。**企業連携やセラピー基地の連携も大切**だと強く感じました。(男性/企業参加)

その**地域の特徴を生かした方法論を開発して、発展させれば**いいとガッテンしました。また、セラピーとストレスの関係は、もっと広範囲に知られる必要ありと感じました。(男性/企業参加)

企業と連携したセラピーの展開に興味を持ちました。**従来以上に自社で推奨し、普及させたい**と思いました。(男性/企業参加)

⇒今後の事業展開

事業に参加頂いた5社(金融機関/印刷業/行政機関等)と、事業後から今後の利活用を含めた話し合い(商談)を行っています。